

理事長あいさつ

人は生まれついでからおわりまで常に学び続ける存在であるということが言えます。

生涯学習のモットーは、自分を振り返り、自分なりの課題を見つけ、課題を自ら学び解き、そして発信することです。

これは退職後から10年余を経た今でも、私個人の特性を磨く旅路の軌跡そのものであり、そして身をもって体験してきた“気づき”そのものでもあります。

こういったプロセスを通じて、人は大なり小なりなんらかのコミュニティーに包まれているという厳然たる事実気づくことが出来るなら、人はさらに新たなコミュニティーを創性し、自分の可能性をより高めていくことが出来るようになることでしょう。

そのためには、お互いの意思疎通を円滑にする場、そしてポジティブな助言や援助が期待できるような人間関係が必要不可欠です。

自らが進んで学び、そして自己実現を目指すという、いわば“内面の富”を求め続けることを生涯学習の源泉とし、これを実現すべく、共鳴するコミュニティーづくりに努力を傾けること—私たちは、このことを実現すべく、社会的な課題解決型のNPO事業を支援、助成していく為に『YS市庭(ワイエスいちば)コミュニティー財団』を組成致しました。

NPOをはじめ様々な活動において、自己実現を目指すべく“内面の富”を蓄え続けておられる老若男女の皆様方が、当財団の助成支援を活用することで、新たなコミュニティーを創生されることを期待しております

理事長 東島信明

財団概要

正式名称：
一般財団法人 YS市庭コミュニティー財団
YS ICHIBA COMMUNITY FOUNDATION

事務局所在地：
〒107-0061 東京都港区北青山1丁目2番3号 青山ビル9階
太陽グラントソントン税理士法人内
YS市庭コミュニティー財団事務局

連絡先

電話：03-3325-7254 FAX:03-3325-7254

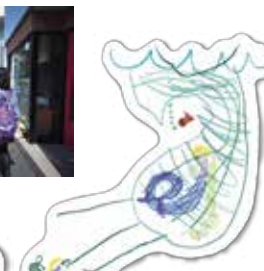
information@ys-ichiba.org



市庭コミュニティー財団の由来
「YS」は、ひたすらに“一誠”を尽くすことに一生を捧げた私たちの父母、祖父母達のイニシャルです。彼らの生き様を忘れないように、との想いをシンボルとしました。
「市庭」とは、中世期の、大きな樹木の下などで物と物とを交換・売買する市場のことを指します。中世の人々の間では、「市庭」は神聖な場所と考えられておりました。



YS ICHIBA
COMMUNITY
FOUNDATION



市庭コミュニティー財団
ys-ichiba.org